

島本町公式マスコットキャラクター

みづまるくん

確かな学びをはぐくむ 学校づくり実践報告

令和7年12月5日(金)
島本町立第一中学校



報告内容一覧

1. 島本町立第一中学校について
2. これまでの取り組み
3. 今年度の目標
4. 今年度の取り組み



島本町立第一中学校について

学校の概要

創 立 昭和22年4月1日

生徒数	1年生	4クラス	150人
	2年生	4クラス	148人
	3年生	4クラス	152人
	支援学級	5クラス	34人
	全校生徒		450人
教職員数			36人



校区は島本一小、三小、四小の三小一中。昨年度よりスクール・エンパワーマント推進事業 確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校の指定を受ける。

これまでの取り組み

1 年 目

【 1 学 期 】

『 目標の確認 』

- ・授業づくり、授業改善の取組を推進。
- ・3名の研究授業を実施。
- ・1時間の授業における「めあて」の明示と「振り返り」の実施徹底を確認。
- ・夏休みの課題では「SDGs」をテーマに設定し探究学習を実施。

【 2 学 期 】

『 発表の活性化 』

- ・文化祭で1学期、夏休みに取り組んだ課題の発表・展示を行う。
- ・学校公開にて、理科の縦割り学年による探究学習の授業を実施。5名の研究授業を実施。
- ・学期を通じて生徒の探究学習の発表活動の活性化を図る。

【 3 学 期 】

『 振り返りと次年度に向けて 』

- ・生徒・教師ともに今年度の取組の振り返りを行い、成果と課題を確認する。
- ・次年度の計画を作成する。



2年目の取組へ

これまでの取り組み

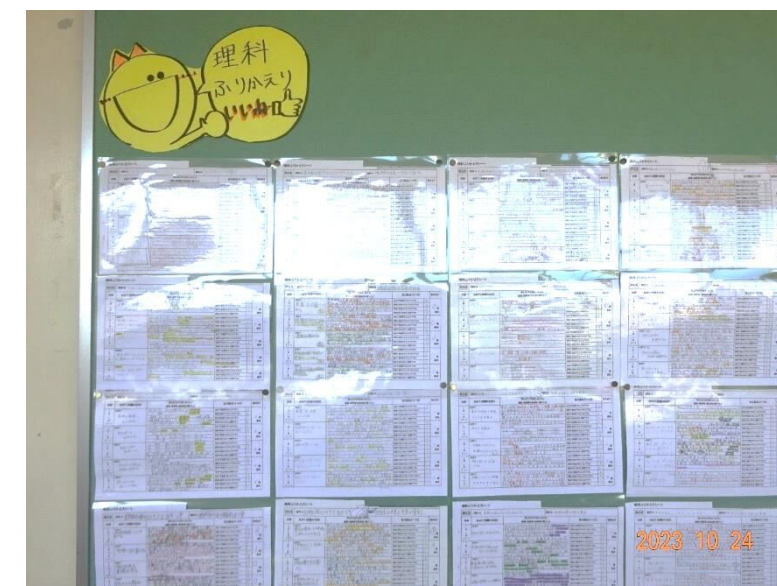
1 年 目

夏休みの探究課題

探究



学年	教科	内 容
1	国 語 科	オススメ本のスピーチ
	理 科	大阪府学制科学賞(自由研究)
	英 語 科	授業で生じた疑問を探究しよう！
	家 庭 科	食生活とSDGs
2	理 科	大阪府学制科学賞(自由研究)
	数 学 科	身のまわりの数学や数字を調べよう！
	社 会 科	探究課題レポート (1学期の授業で生まれた疑問を探究)
	家 庭 科	衣生活とSDGs
3	社 会 科	税についての作文
	英 語 科	チャレンジテストの分析
	美 術 科	マイブーム



理科(2年)
ふりかえり「いいね」

社会(1年)
調べ学習



保健給食委員会
残食についての取組

・ 校内掲示(探究課題や「SDGs」の取組)

これまでの取り組み

1 年 目

『探究学習』と『自学自習力』の向上。基礎的な知識と言語力を基に、自ら課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析し、まわりと意見交換・協働しながら深い学びにつなげて**生涯学習**に向かう力をつける。

理科 全学年 縦割り授業

『電気の活用について考えを深めることができる。』

【発表者】エネルギー資源の利用や自然環境保全について、科学的・論理的に説明しよう。

【聞き手】エネルギー資源の利用や自然環境保全について、自分自身の考えを広げ、深めよう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
「すべての人が、安く安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう」

7-1 2023年までに、だれもが、安い値段で、安定的で現代的なエネルギーを使えるようにする。

7-2 2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う割合を大きく増やす。

7-3 2030年までに、今までの倍の速さで、エネルギー効率をよくしていく。

7-a 2030年までに、国際的な協力を進めて、再生可能エネルギー、エネルギー効率、石炭や石油を使う場合のより環境にやさしい技術などについての研究を進め、その技術をみんなが使えるようにし、そのために必要な投資をすすめる。

7-b 2030年までに、さまざまな支援プログラムを通じて、開発途上国、特に、もっとも開発が遅れている国、小さな島国や内陸の国で、すべての人が現代的で持続可能なエネルギーを使えるように、設備を増やし、技術を高める。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2年生 発表

水力発電

Googleフォームによる振り返り

なぜ○○なのか？ ～学習中の疑問～

〇長所

- ①環境に良い
- ②維持費がかからない
- ③再生可能エネルギーである

△短所

- ①新造費用がかかる
- ②降水量に左右されやすい。

3年生 新しい発電方法

海を活用した発電

ブイ型小型発電機

上昇気流発電

発電方法

① 鍋を使って太陽熱を中央に集めます。

② 中心の温度が上がると上昇気流が発生します。

③ 上昇気流を使ってタービンを回して発電します。

宇宙空間での電磁誘導による発電の方法について

宇宙空間と慣性の法則

外から力が働かない限り、物体は動き続ける

外から力が働かない限り、物体はその動き続ける

宇宙空間なら、半永久的に発電できる。

ジェット気流発電

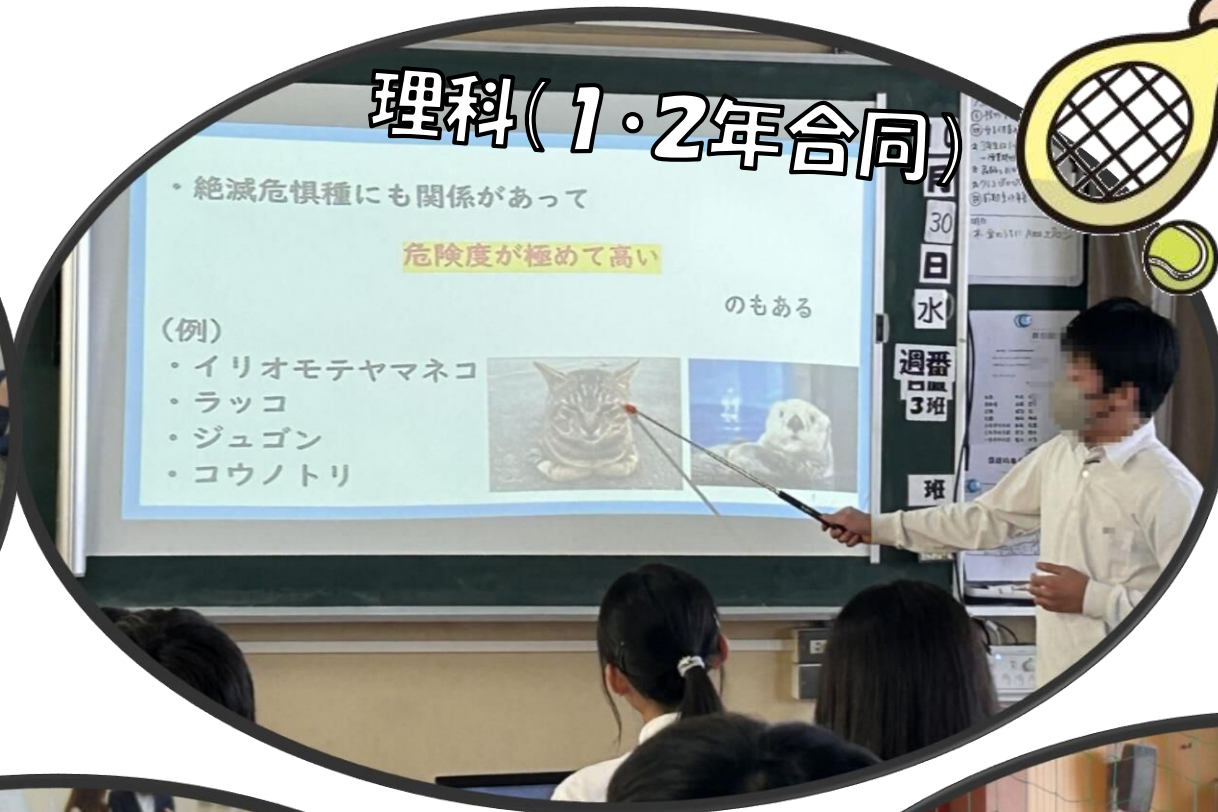
3年C組 6班

ダイナミックソーリング

これまでの取り組み

2年目

探究学習



これまでの取り組み

2年目

島一中生基礎力

経済産業省

前に踏み出す力
Action

主体性

実行力



働きかけ力

一歩前に踏み出し
失敗しても粘り強く取り組む力

考え抜く力
Thinking

課題発見力

創造力



計画力

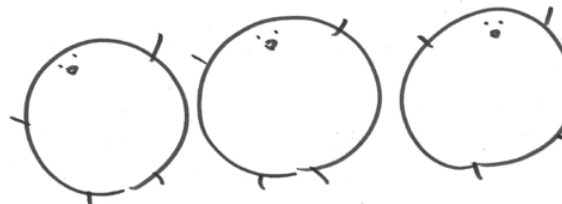
疑問を持ち
考え抜く力

チームで働く力
Teamwork

傾聴力

発信力

規律性



柔軟性

情報把握力

ストレス
コントロール力

多様な人々とともに
目標に向けて協力する力

考え抜く力
Thinking



疑問を持ち
考え抜く力

課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセス（過程）を明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題を提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求められている。

前に踏み出す力
Action



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

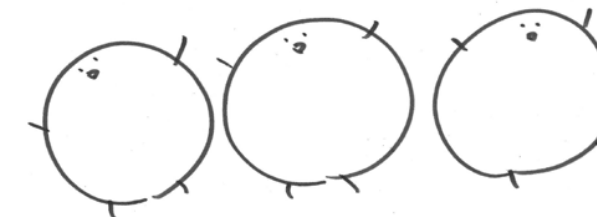
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

一歩前に踏み出し
失敗しても粘り強く取り組む力

チームで働く力
Teamwork



発信力

自分の意見をわかりやすく
伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

多様な人々とともに
目標に向けて協力する力

柔軟性

意見の違いや相手の立場を理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることが求められている。

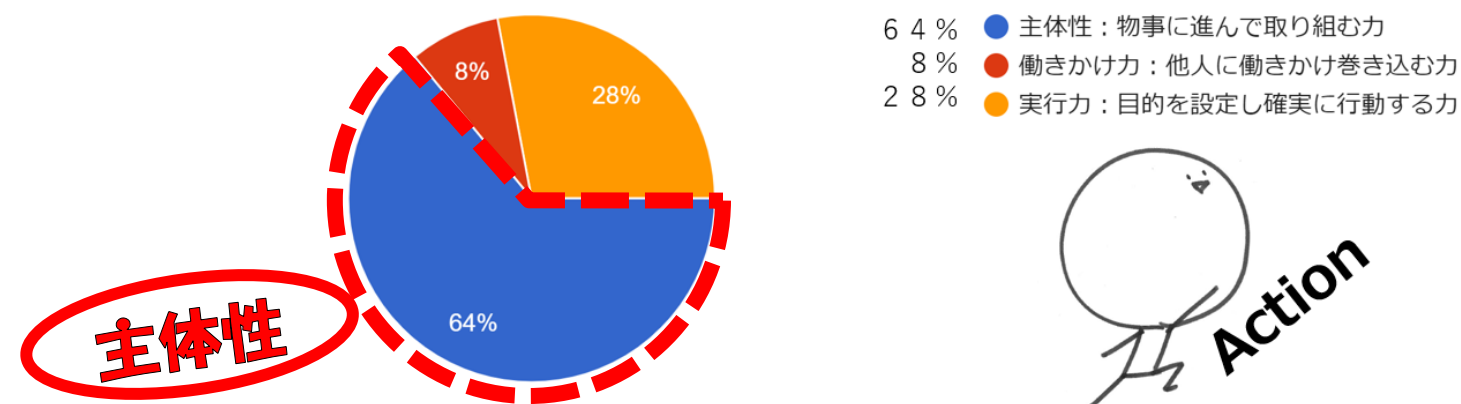
グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力が求められている。

これまでの取り組み

2 年 目

生徒につけたい『前へ踏み出す力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。

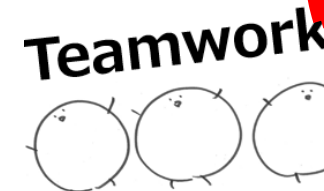
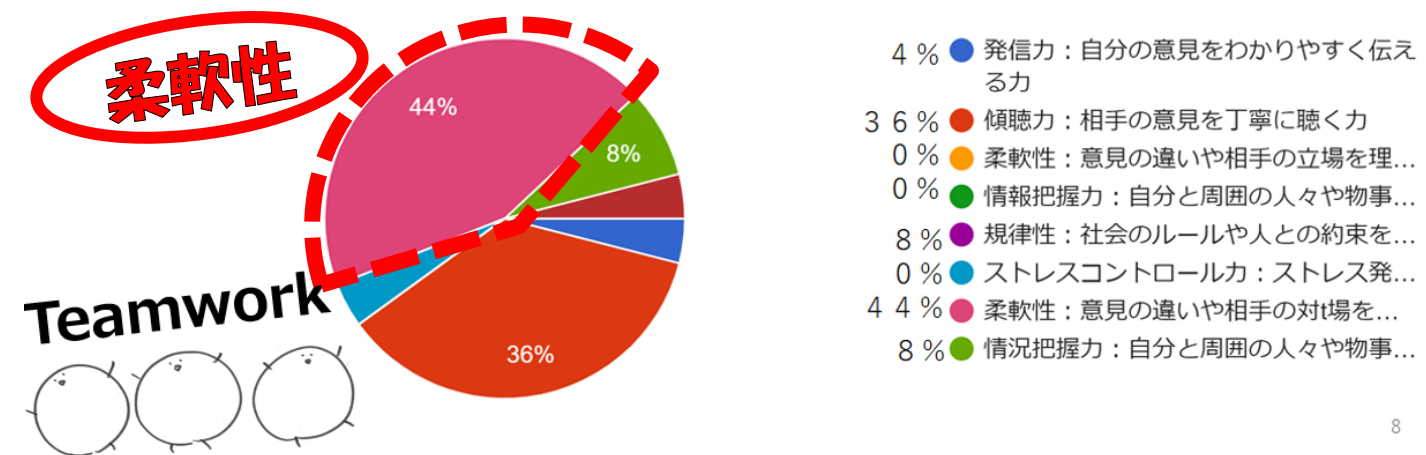
生徒につけたい『前へ踏み出す力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。
25 件の回答



2

生徒につけたい『チームで働く力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。

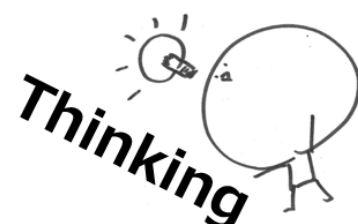
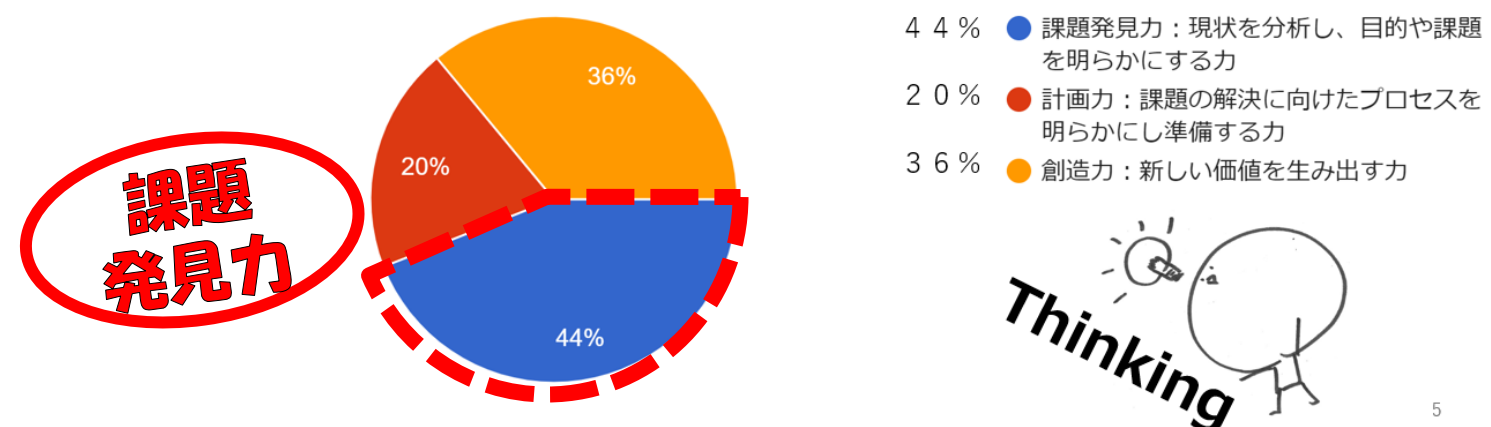
生徒につけたい『チームで働く力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。
25 件の回答



8

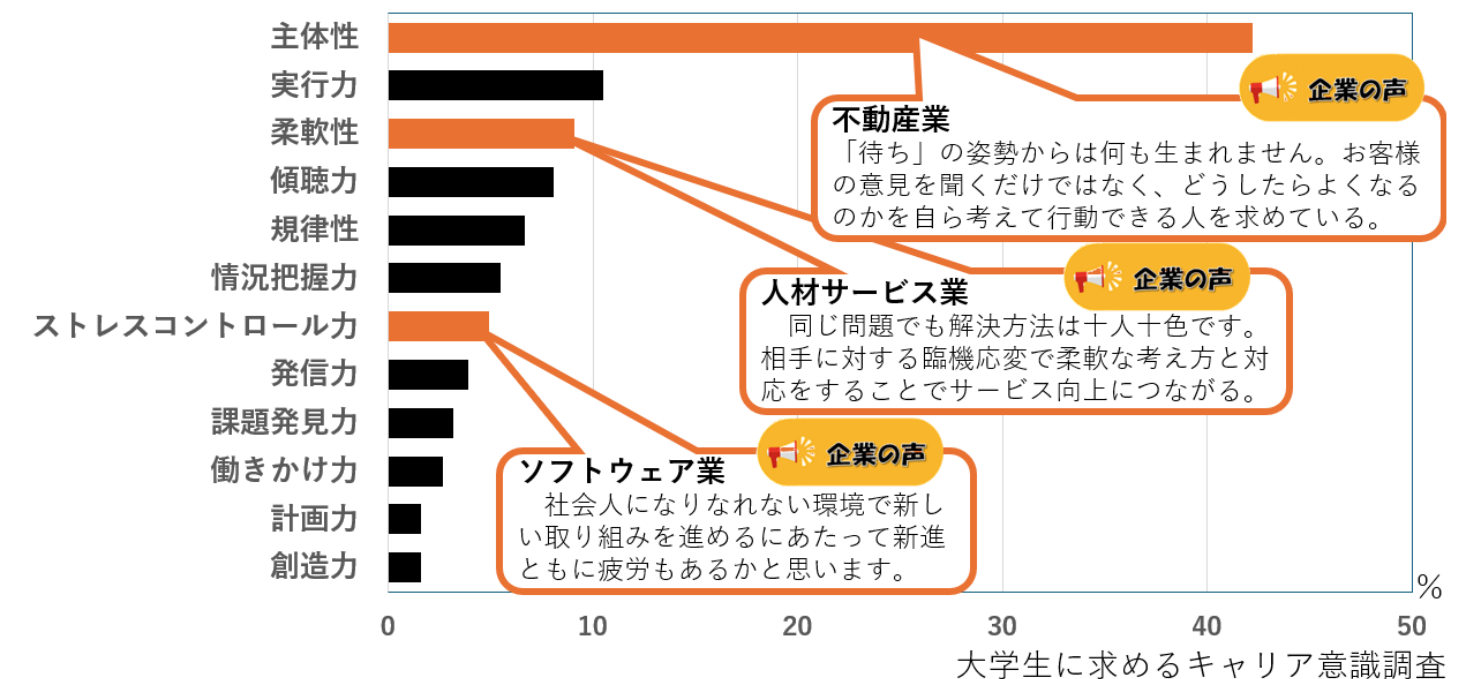
生徒につけたい『考え抜く力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。

生徒につけたい『考え抜く力』の中で最も重要な要素 だと思うものを選んでください。
25 件の回答



5

企業が重要だと思う新社会人への要素



これまでの取り組み

2 年 目

先生の強み／長所

- ・真摯に聴く姿勢
- ・困っている人を放っておけない
- ・一所懸命
- ・傾聴力
- ・楽観的
- ・人のちょっとした変化に気づける
- ・継続力
- ・生徒の発言の取り扱い/指示の通りやすさ
- ・体力
- ・ポジティブ
- ・コミュニケーション能力
- ・相手の意見をしっかり聞くこと
- ・情報系
- ・リーダーシップ力
- ・行動力
- ・丁寧さ
- ・生徒に考えさせる「発問力」、授業の組み立て
- ・何事にもひたむきに取り組めるところ、生徒目線に立って物事を考える姿勢を大切にしている点
- ・教科教育の授業において、授業展開を考える基盤があること
- ・比較的どんな状況でも落ち着いて行動できること
- ・傾聴力 教員に対してだけでなく、生徒に対しても最後まで話を聞くようにしている
- ・誰とでも打ち解けられる社交性
- ・プログラムや工学系数学の知識がある
- ・全体を見る状況把握や、小さな変化をキャッチする力
- ・行動力
- ・丁寧に仕事をやり抜く力。積極的に仕事に取り組む力。

先生の課題／今後努力を要すると考えられる点

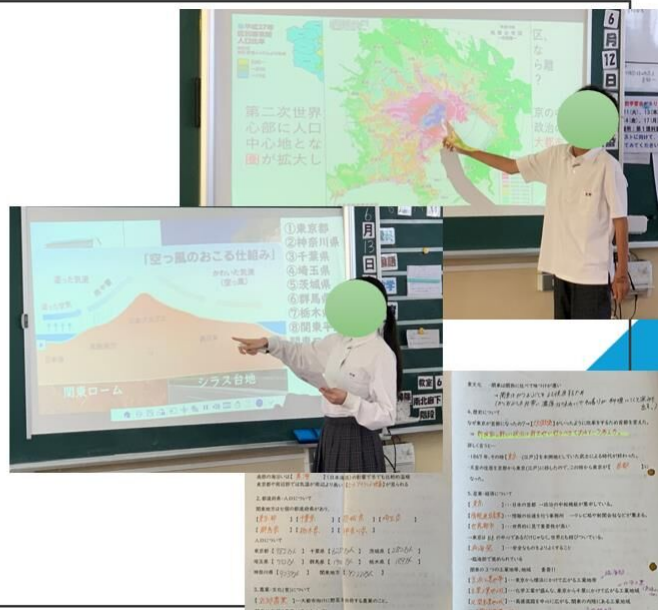
- ・発信力
- ・頑固 自分のこだわりを貫きすぎてしまう
- ・面倒くさがり
- ・ICT活用
- ・めんどくさがり
- ・共感力アップ
- ・謙虚さ
- ・体力
- ・情報活用能力作成
- ・リーダーシップ
- ・自ら行動する力
- ・物事を柔軟に捉えること
- ・知識の伝達がメインの授業になりがち
- ・計画性
- ・無意識のうちに1人で抱え込んでしまうことが多いところ、物事を端的にわかりやすく話すことが難しい
- ・知識(刻一刻と変化する教育に対する正しい知識)
- ・専門教科でも不得意な分野があること
- ・行動するべきタイミングの見極め
- ・ストレスコントロール力。物事をマイナスに考えてしまい、ストレスに感じてしまいがちのため。
- ・興味のないことにはスイッチが入らない
- ・見通しをもって物事を進める力
- ・丁寧の中に綻びがある。生徒指導力。授業力。
- ・子どもたちに適した課題設定が苦手。
- ・アイデアの考案。授業力をつけること



ICT活用実践例

2年 社会科

2年生では、日本の諸地域についてグループで授業作成を行いました。生徒自身でPPや、プリントを作成し、九州地方から東北地方までの範囲を約20分の授業を実施しました。教科書やインターネットから必要な資料を取り込み、どのように伝えれば、人が理解できるのかを考え、話し方やデータの見せ方などを工夫していました。



1年 理科

単元のふりかえりをタブレットで行った。ふりかえりの最後には学習の確認という形で問題を解き、正答率から授業者の教え方はどうだったのかも振り返るようにした。

課題 準備に時間がかかる
ボタンが押せない
teamsに入れない

生徒がいる



3年 数学

Kahoot!では、クイズ形式で復習問題を出題しています。得点ランキング上位を目指して取り組んでいます。

Skymenuでは図形を動かし問題を視覚的にも捉え、ワークシートを共有することで様々な考え方に触れることができました。



全学年 英語科

昨年度から実施しているオンライン英会話です。一人一台のタブレットを使用し、現地のネイティブスピーカーと英語で対話をしています。

必要に応じ、講師の話す英語に瞬時に字幕を付けるなど、ICTを活用するからこそできる支援や配慮を施すことができます。一年間に6回実施しています。



1,2年 数学

「右脳数学」というタイトルのもと、フラッシュ暗算の要素を取り入れた計算演習をおこなっています。前のスクリーンに次々と計算式がうつり、すぐに答えを書きます。生徒からも概ね好評で、モチベーションアップと計算力アップに効果的と考えます。

右脳数学の目的

①正負の計算に慣れる。加法の感覚を体と頭にたたきこむ。

②計算を速くできるようにする。

③「考える」時間を極力カットする。問題を見たら自然と答えが浮かんでくるくらいまで直感を鍛える。(右脳活性化)

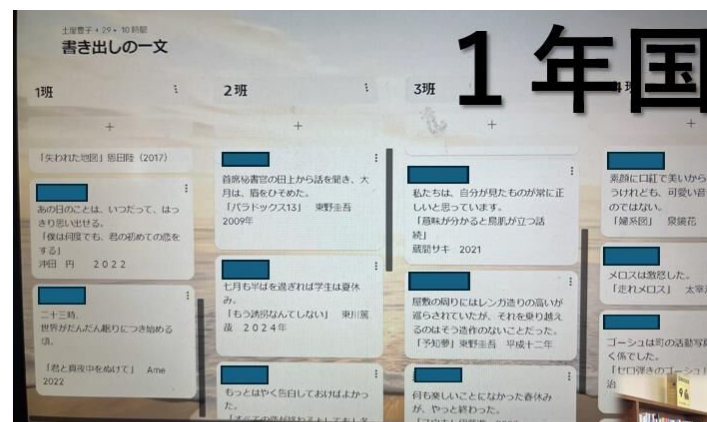
それではいきます。

次の計算をしないで。

① $(4x + 3y) \times 2$

② $(2x - 5y) \times (-5)$

1年 国語

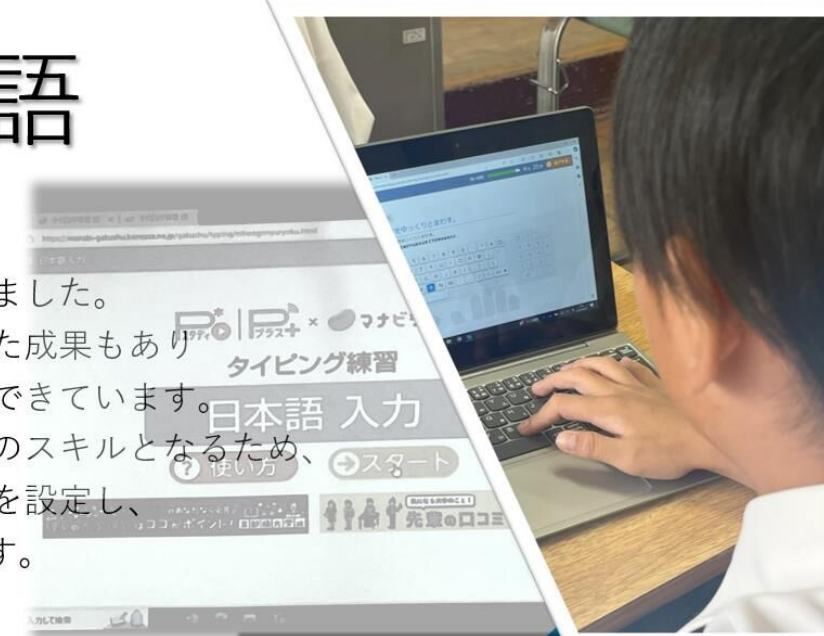


図書室で本を選び、秀逸だと思っておきの【書き出しの一文】をパドレットで共有しました。文豪の名作あり、映画のノベライズあり、人気作家のベストセラーありとバラエティーに富んだラインナップになっています。



1年 国語

毎時間の帯学習としてタイピングの練習を始めました。小学校から取り組んできた成果もありみんな上手に打つことができます。タイピングは今後、必須のスキルとなるため、P検を参考に自分で目標を設定し、「成長度」を図っていきます。



これまでの取り組み

2 年 目

非 認 知 能 力



みづまるキッズプラン

遊びと学びをつなぐその先へ

島本町では、これからの幼児期及び小学校以降の教育の姿、現状と課題、今後の方向性等について検討を行い、令和3年度から5年度までの3年間に於いて、「みづまるキッズプラン(3か年計画)」に取り組む、「みづまるキッズカリキュラム」を作成しました。令和6年度から、保育所・幼稚園・小学校において、カリキュラムに基づいた保育・教育活動を実施していきます。

これまでの取り組み

2年目

目指せ！ 島本のノーベル賞！！



マナベル賞とは…
作品から『学べる！』と感じ
たものに授与しています。

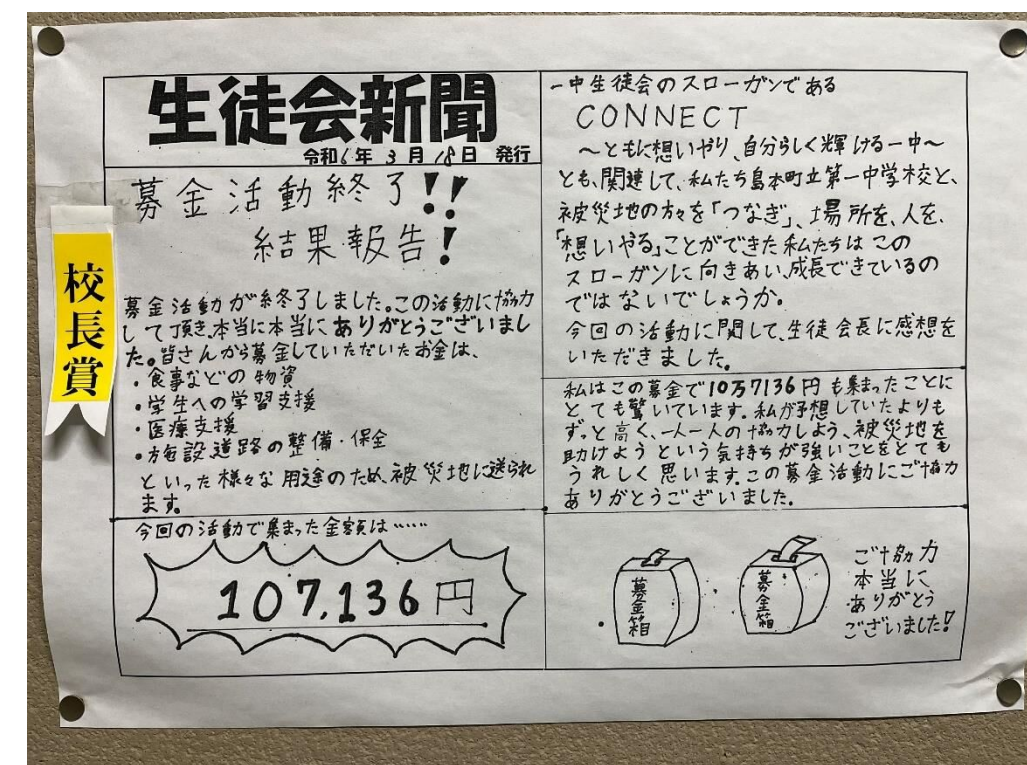
掲示物に先生からマナベル賞 を授与していきます！！



島本のノーベルを目指しましょう！！

《めあて》

学校生活の中の取り組みに対してスポットを当て、
自己肯定力（非認知能力）の向上を目指す。



これまでの取り組み

2年目

同和教育研究調査校

調査校の役割

「差別のない社会をつくるために行動できる子どもたちを育てる」

・ **人権教育を柱**にした学校づくり

・ 実践を**創造**し、発信できる学校づくり

→とりくみをするのが実践ではなく、

とりくみの中で子どもたちが変容していく姿から

職員も学び、変容していくことが実践



データから見る取り組みの効果 ①

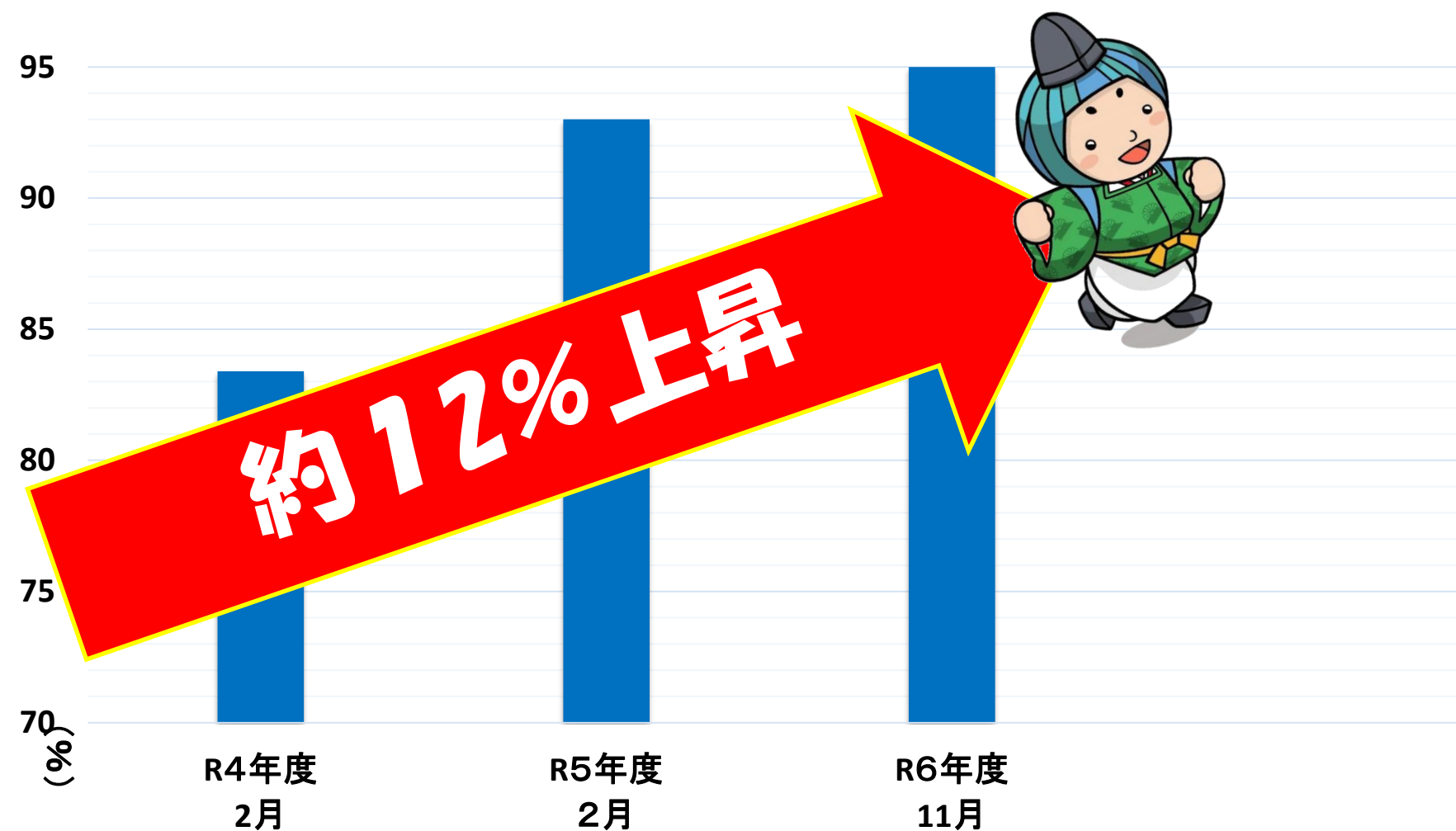
学校に行くのは楽しいと思う

肯定的な結果

自分にはいいところがある

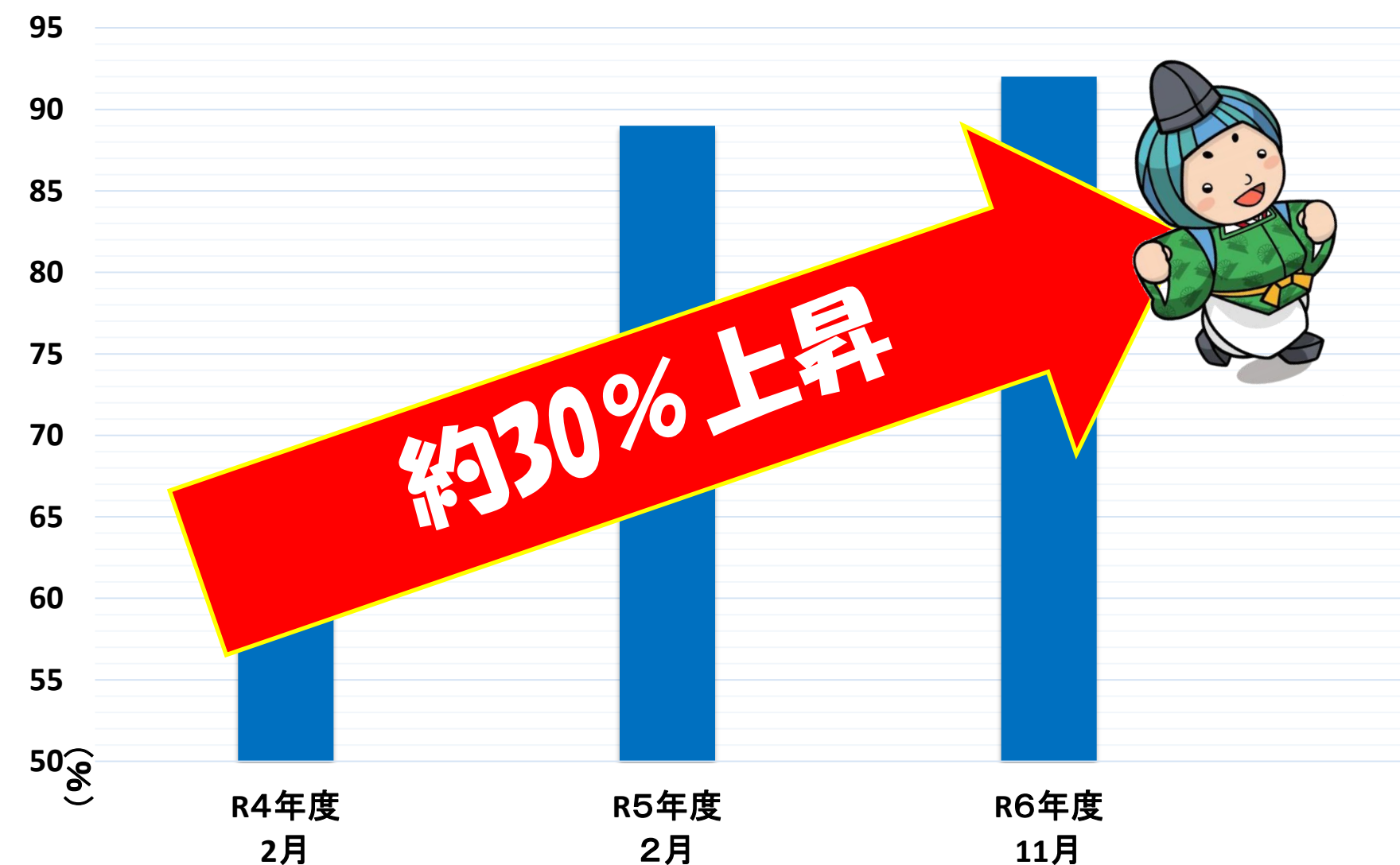
R4年度 → R6年度

83.4% → 95.0%



R4年度 → R6年度

61.7% → 92.0%



データから見る取り組みの効果 ②

人権の大切さやいじめ防止について
学び行動することができている

肯定的な結果

まわりとのコミュニケーションを
大切にしている

1学期 → 現在

89.3% → 98.0%

100

95

90

85

80

75

(%)
70

1学期

2学期

1学期 → 現在

89.5% → 96.5%

100

95

90

85

80

75

(%)
70

1学期

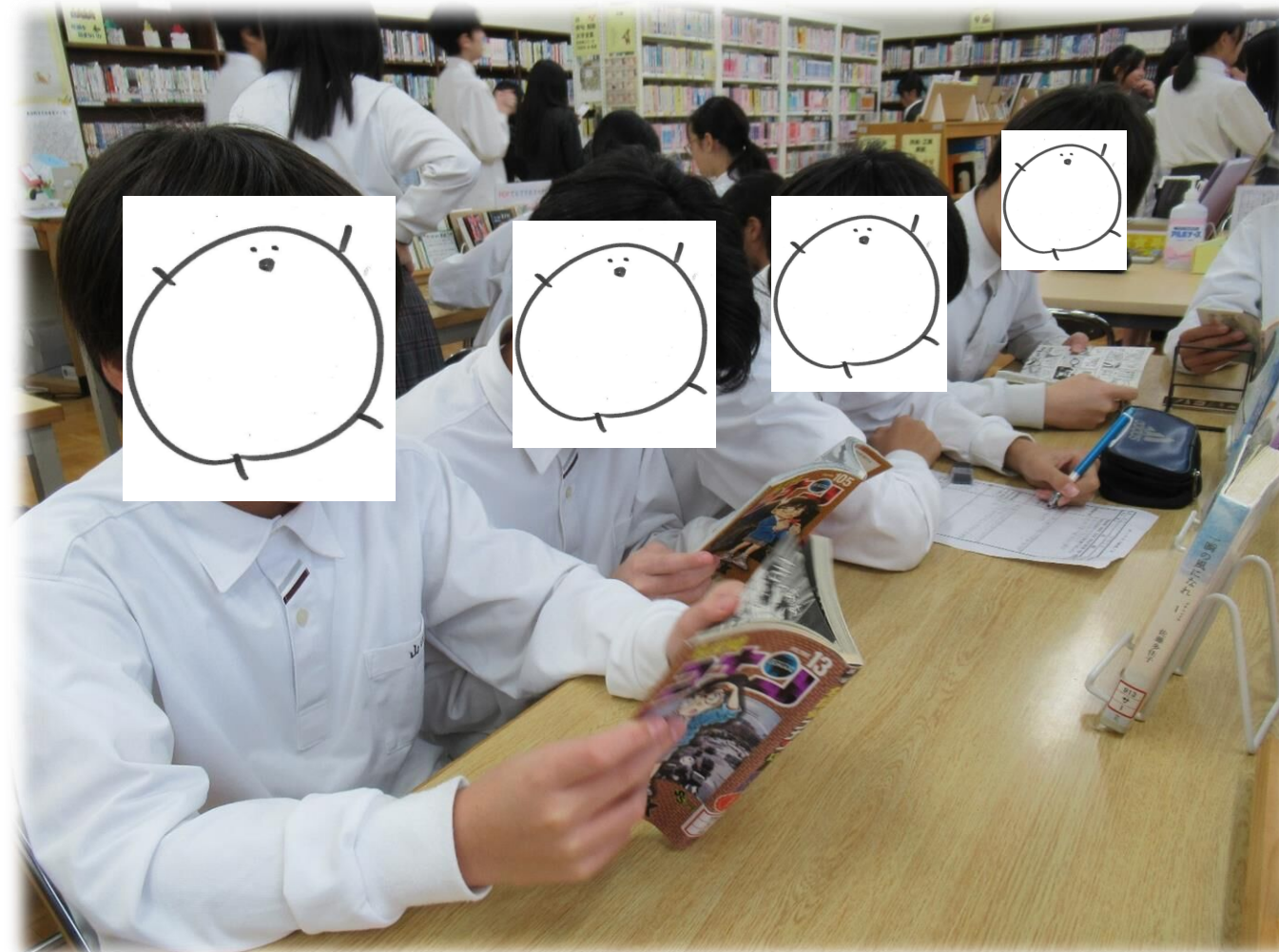
現在

ほぼ全員が肯定！

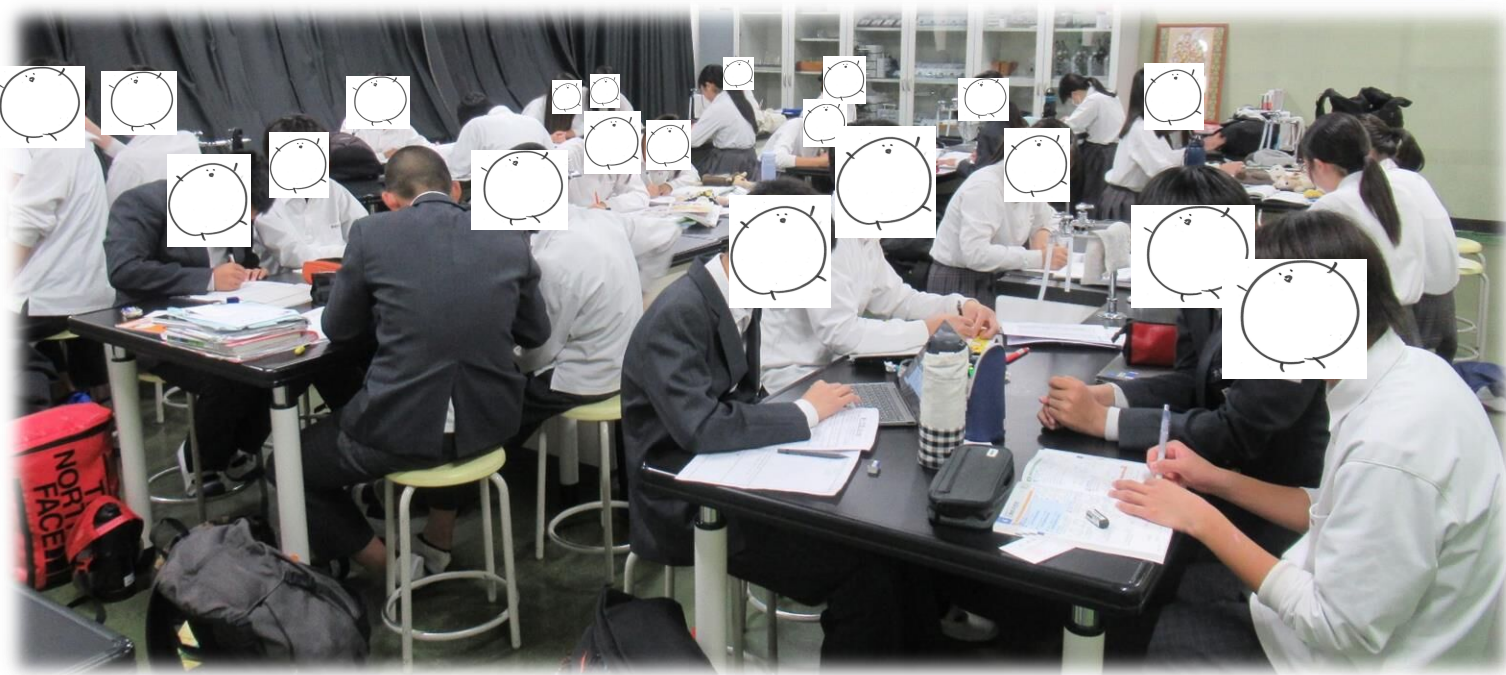


これまでの取り組み **2年目** 自学自習力

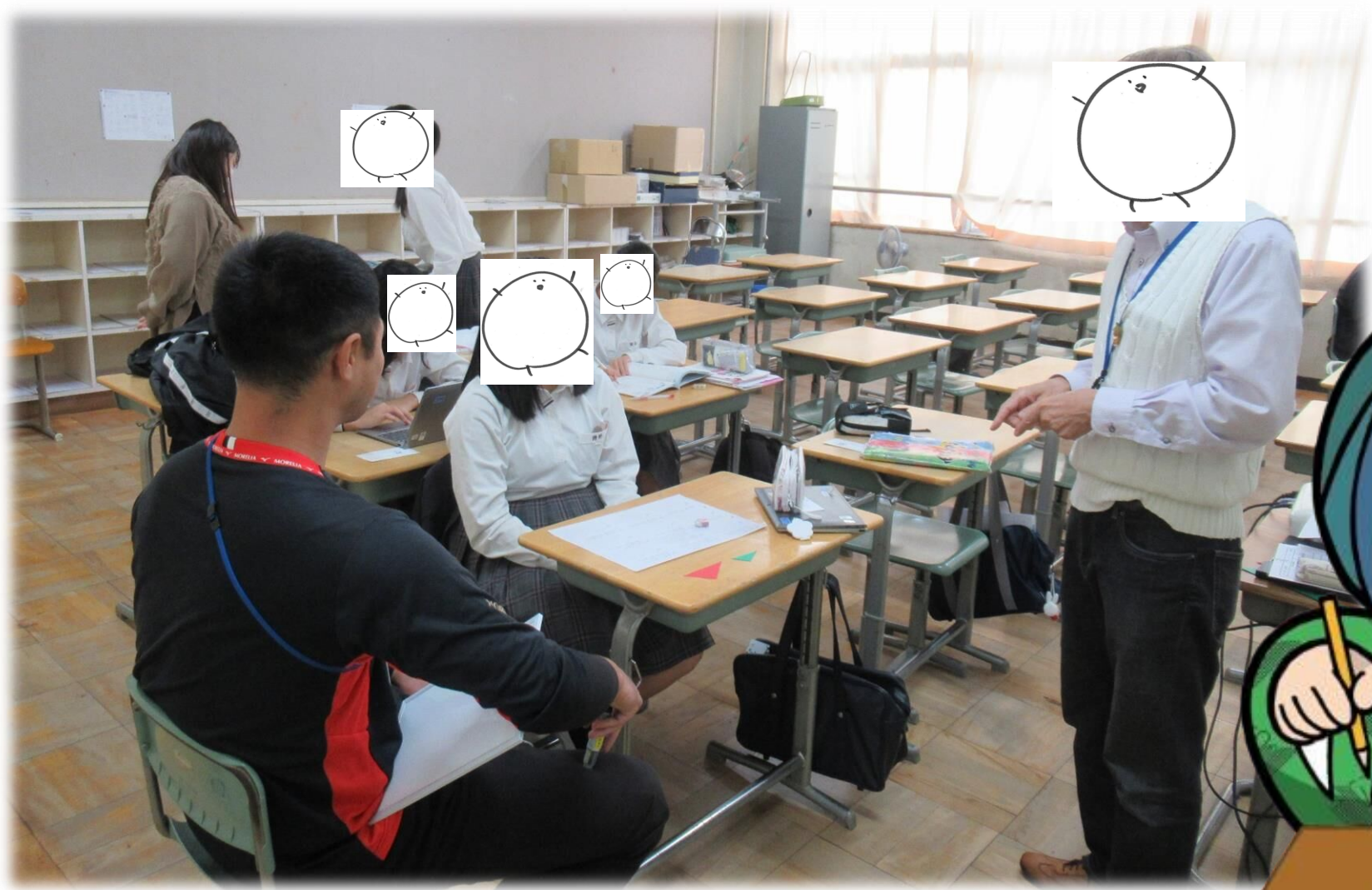
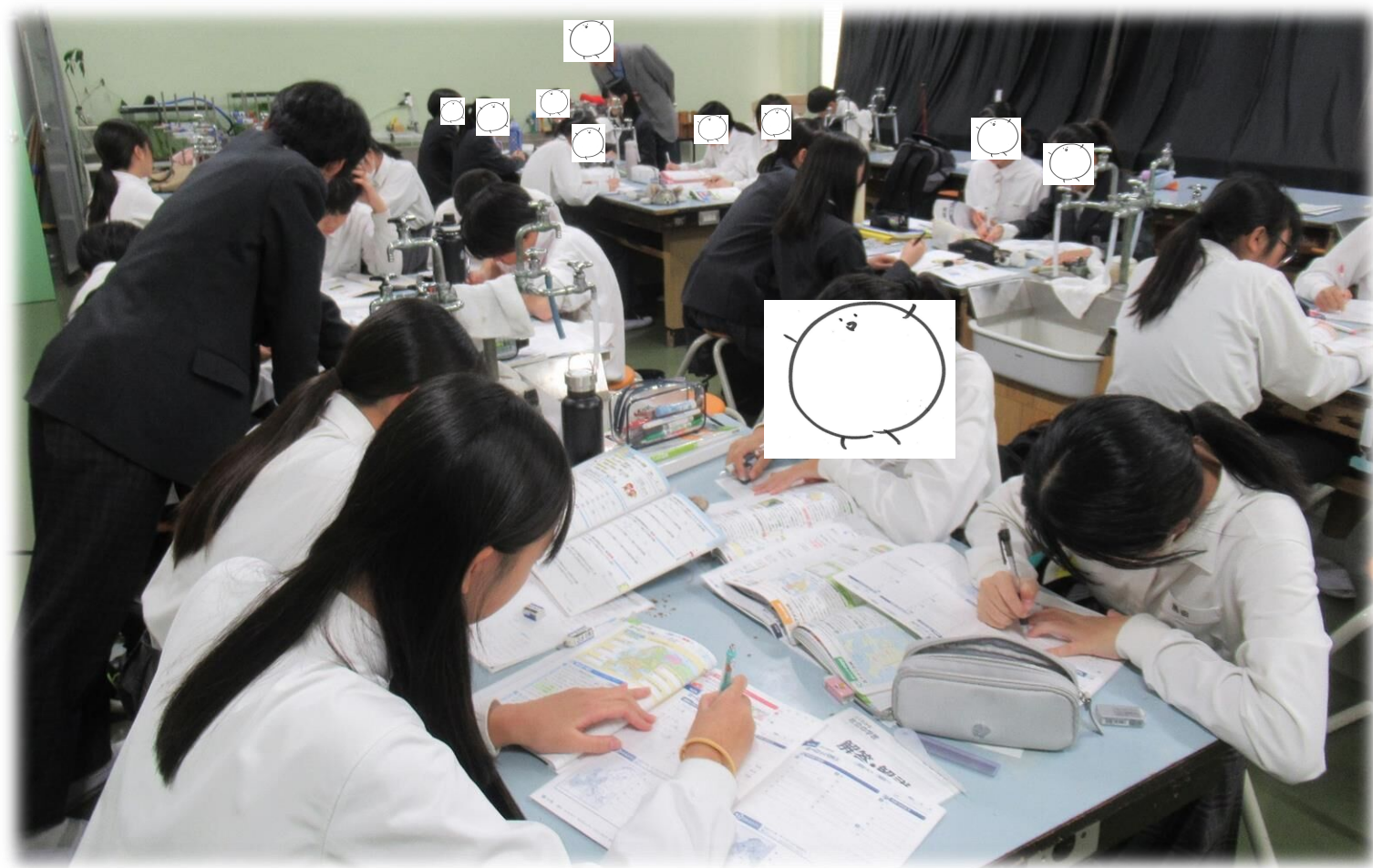
本棚の一角に『自学自習コーナー』を設置。図書室内で自学自習できる環境を整えた。



これまでの取り組み **2年目** テスト前学習会



定期テスト前に地域の方をボランティアとして招き、テスト前学習会を設定。



これまでの取り組み

3 年 目

今年度のテーマ



Sustainable 探究

「探究学習」，「非認知能力」の育成と「自学自習力」の向上



学力向上委員会の取り組み



1. 探究学習

普段の授業や夏休みの期間を使って、課題を設定し、自ら調べたり仮説を立てたりしながら課題探究を行う。それをプレゼン形式で発表したり、展示形式で発表したり、各教科の特性に応じて行っている。

誰かをとり残していないかという視点で
学校生活や教室を見てもよう
取り残しているものがあれば改善策を
話し合ってみよう



2. テスト前学習会の開催

定期テスト1週間前から、放課後の時間を使って
各学年の教師と地域ボランティアの方々による学習サポートを行っている。友達同士で教えあったり、勉強に誘う友達がいたり、学習習慣のきっかけとなっている。



3. ICT機器を使った授業

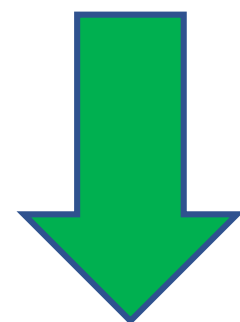
ロイロノートを使って提出物を出させたり、グループワークでそれを共有したり、図や動画を取り入れた授業を展開したり、より分かりやすく効率的な授業を展開している。また生徒が調べ学習をしたり、プレゼンのスライドを作ったり、表現や探究においても大いに活用している。

島本町 みづまる キッズプラン



めざす子ども像 ～持続可能な社会を創る～

- ・自ら考え判断し、行動できる子ども
- ・違いを理解し、自他を尊重する子ども



実現するために…

自己表現力

自分らしい考えや気持ちを伝える力

課題探究力

試行錯誤しながら学びを深める力

社会参画力

仲間と協力して活動する力

一中の教職員が大切にしたい 視点

「しかけ」
をつくる

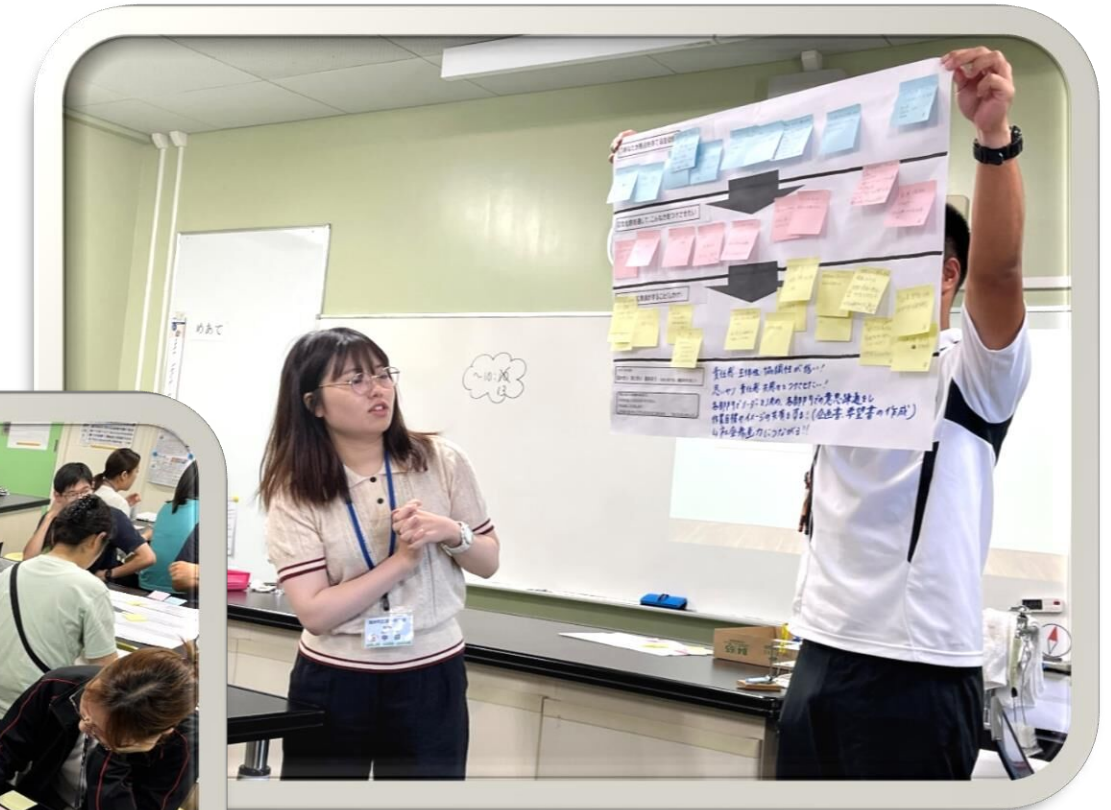
基準を
そろえる



令和7年度 みづまるキッズプラン 校内研修

行事を「課題」に変える

～探究の芽を育てる“しかけ”づくり～



《研修の目的》

- ◆教員自身が文化祭の教育的価値を探究する
- ◆島本町の教育ビジョン「みづまるキッズプラン」とつなぐ



《教職員の探究の流れ》

- ①夏休み校内研修(課題を設定する)
- ②文化祭取り組み(10月)実施
(設定した課題を踏まえて)
- ③生徒による事前・中間・事後の振り返り
- ④教職員による分析(学年会などで)
- ⑤11月職員会議で全体共有

《成果》

- ・学年教職員が改めてしっかり向き合うことで、学年の良さや課題が言語化でき、同じ認識をもつことができた。
- ・生徒の現状や背景に対する着眼点が、同じ学年教職員でも大きく相違することなども確認できた。
- ・実際に教職員が探究サイクルを回すことにより、実際に生徒に探究学習をさせる際の留意点や生徒へのしかけが考えやすくなった。



【問い】文化祭をととして生徒にどんな力をつけさせたいか。



【課題】

2 年生

【サブリーダーの育成】

学年として、協力して何かに取り組むことやリーダー層が活躍することはできている。
文化祭を通して、これまで前に出てきていない生徒に自信をつけさせ、サブリーダーとなる生徒を増やしていきたい。

みづまろキッズプラン3つの力

自己表現力

教員が意図したきっかけ	・挑戦したい気持ちはあるが自信がなく、なかなか前に出てこれない生徒がいた。 ・様々な生徒に活躍の場を作りたい。
仕掛けの具体的内容	教師から声かけをし、「パートリーダー」や「ダンスリーダー」などの役割に安心して立候補できる状況をつくった。
生徒の実際の反応(数値)	事前アンケートで数値の低かった生徒7名のうち、5名の生徒が前向きな方向へ変化した。
生徒の実際の反応(記述・声)	「自信や目立つことに対する怖さが減少した」 「真剣にやることが大切だとわかった」 「恥ずかしがらずにできた」 「今年よりも前に出て頑張りたいと思った」 「自分もちょっとした係でもやろうと思った」
教員の評価	課題の大きい生徒が前に出て活躍することができた。前に出ることは恥ずかしくない、正統なことであると体現できた。どんな生徒でも頑張る姿を受け入れる体制ができていた。
差異の分析	力を発揮してほしかった生徒が周りの状況で判断して身を引いてしまった。しかし、これまで出てこれなかった層が出て自信をつけることはできた。
今後(次年度への改善案)	行事だからではなく、普段から常に意識しておくべきこと。3つの力をつけさせるために、様々な取り組みをこれからも行っていきたい。

万博探究学習

【ねらい】

未来の担い手となる生徒が、2025年大阪・関西万博という機会を通して、新たなアイデアを創造・発信できるようになる。

(みづまるキッズプラン「自己表現力」)

1年生

夏休みの宿題として、「すべてのいのち輝くSDGsアイデア」を考え、解決したいと感じることを課題設定し、【一中EXPO】と題して個人・グループ発表会を行っていく。

2年生

万博×キャリア学習「私を輝かせる企業」として、「いのち輝く未来社会のデザイン」に注目し、調べ学習とクラス内発表に繋げた。自分たちを輝かせるものには様々な企業が関連していることを知るきっかけとなった。

3年生

「いのち輝く未来社会のデザイン」から、小学6年生に向けて、明るく幸せな学校生活を送るための島本一中ガイドブックを作成している。

島本町立第一中学校

一中EXPO 2025

～すべてのいのち輝くSDGsアイデア～

みんなが輝く未来にするために

第一学年

第一中学校の 人権学習の取り組み



同和教育研究調査校

調査校の役割

「差別のない社会をつくるために行動できる子どもたちを育てる」

人権教育を柱にした学校づくり

人権教育を柱にした学校づくりのために

○毎週水曜日 3限 人権キャリア教育委員会の実施

○大人教・三島人研 研修会での実践報告

- ・R5 年度 R6年度 三島冬季研究大会での実践報告

- ・R7年度 大阪府人権教育研究 南河内大会での実践報告

1年に1回の人権講演会

- ・全校生徒参加の講演会を実施
- ・テーマは「個の尊重」「平和学習」「社会課題」の3つをローテーションし、3年かけて3つの人権課題を学べるようにしている。

◎SDGsを大きな柱とする



SDGsの目標17を3つのカテゴリーに分けている

①個の尊重(LBGTQ、男女共生、障がい者理解)

5ジェンダー平等 10不平等 17パートナーシップ

②平和学習(国際理解、平和、ユニセフ)

1貧困 2飢餓 4教育 10不平等 16平和と公正
17パートナーシップ

③社会課題(福祉、高齢者社会、地域とのコラボ、環境問題)

3健康と福祉 6水とトイレ 7エネルギー 8経済成長
9産業と技術革新 11まちづくり 12つくる責任 13気候変動
14海 15陸 17パートナーシップ



[illegible]

○島本町内の小6と中2の学年による合同学年会の実施

○学習を始める前に、地域の方を招いて学年会議の実施

生徒会による『いじめ道德』

生徒会本部が主体となり、『いじめ防止の道德授業』をオンラインを使って実施

いじめと
いじりの
違いって何だ
ろう？

Aさんは、クラスメイトのBさんの反応が面白いという理由で、Bさんの筆記用具などの持ち物を勝手に触ったり隠したりする。

これはいじめ？
いじめではない？

①

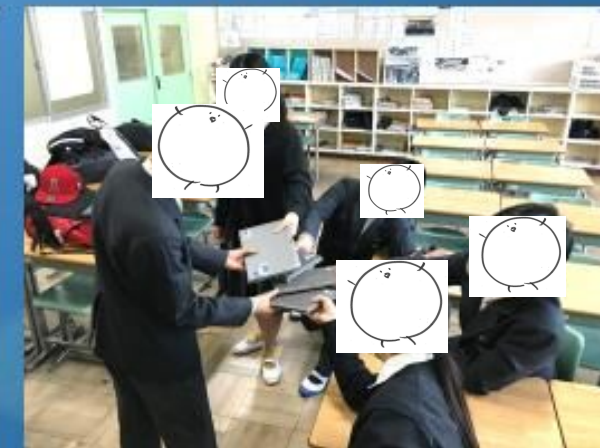


Eさんは授業終わりに、振り返りを書くのに必死だった。タブレットを保管庫に直しに行くFさんに向かって、

「お願い！自分のも直してくれない？」とタブレットを渡して直してもらった。

これはいじめ？
いじめではない？

③





生徒が主体的に学校運営に 関わることができる取り組みについて

生徒指導委員会



（１）生徒会の取組

中学校学習指導要領「生きる力」より

第5章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

１ 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団
や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協
力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を
育てる。



(2) 生徒会の取組

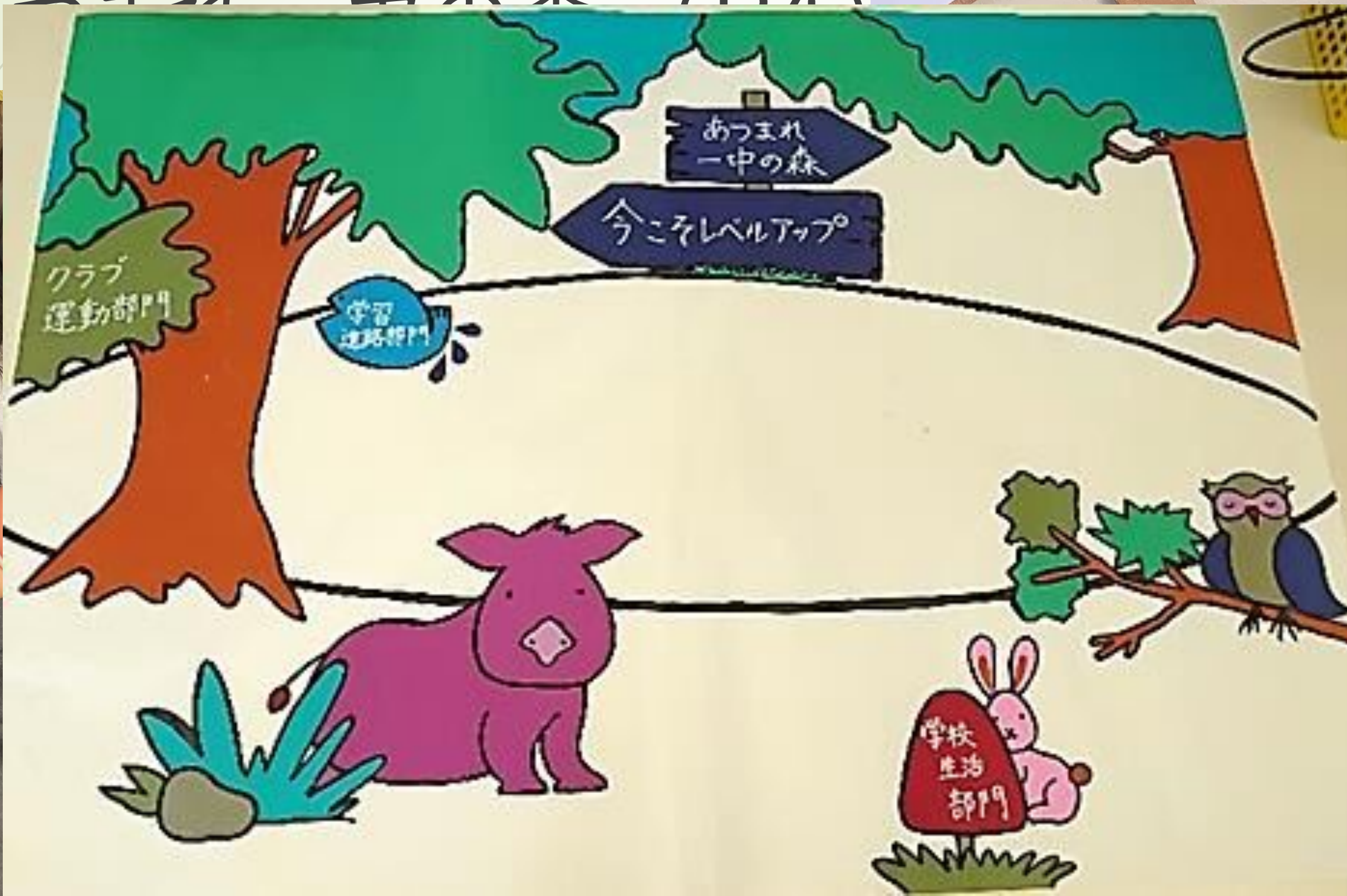
① 目的・目標(R5)

- ➡ 誰ひとり取り残されることなく、地球で暮らす一員としての自覚を持ち、さまざまな活動とSDGsの目標と関連付け、一致団結して取り組める生徒会活動を目指す。
- ➡ みんなが生徒会の一員である意識した中、学校生活での自治活動を行う。
- ➡ 挨拶を通じて縦と横をつなげ、活気のあふれる学校をつくる。



(2) 生徒会の取組

➡ ② 「あつまれ 中の森 (R4)」



4 質の高い教育を
みんなに



校長賞

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
トイファザンドの日記表はなぜ
「ハニホムトイハ」なのか?
3年 D組 名前 東條 蒼太郎

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
理科の計算問題
どうやってやるのか。
3年 B組 名前 浦野 果

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
なぜ学校の授業で黒板と
チョークを使うのか。
3年 A組 名前 山口 楓下

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
食塩は塩化ナトリウムの化学式はNaCl
では何故塩化ナトリウムと書けるのか。
(Naはナトリウム、Clは塩素のことか?)
2年 C組 名前 山崎 悠

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
どうして人は見かけで賢い
人を作ろうのか?
3年 B組 名前 山崎 悠

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
なぜ英語には、
大文字と小文字があるのか?
3年 D組 名前 東條 蒼太郎

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
アニメやマンガの内容はすぐ覚えら
れるのに勉強の内容は全く覚えられな
いのはなぜか。
3年 C組 名前 西村 心寧

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
宿題や勉強がやる気にならないのは
なぜですか。
3年 A組 名前 高木 明優

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
社会と知事とは
何が違うのか。
3年 B組 名前 中村 俊生

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
勉強がどうなるようになるには?
3年 C組 名前 浪田 純希

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
どうして世界では
教育格差が
起きているのか?
2年 A組 名前 竹内 かな



5 ジェンダー平等を
実現しよう
♀

6 安全な水とトイレ
を世界中に
💧

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

5 “男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう”

5-4 お金が支払われない、家庭内の子育て、介護や家事などは、お金が支払われる仕事と同じくらい大切な「仕事」であるという考えを、それを支える公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて認めるようにする。

5-5 政治や経済や社会のなかで、何かを決めるときに、女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにする。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

6 “誰もが安全な水とトイレを世界中に”

6-3 2030年までに、汚染を減らし、ゴミが適切に処理され、排水を半分減らす。世界全体の排水を半分減らす。

6-5 2030年までに、必要時は国境を越えて、安全な水を供給できるようにする。

14 海の豊かさを守ろう
🐟

15 陸の豊かさも守ろう
🌳

杉谷先生賞
授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
プラスチックはなぜ
捨てるのが悪いのか。
3年 C組 名前 山崎 悠

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
なぜプラスチックは
捨てるのが悪いのか。
3年 A組 名前 山崎 悠

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
なぜプラスチックは
捨てるのが悪いのか。
3年 B組 名前 山崎 悠

授業や身近で
☀️ 気になること・疑問
なぜプラスチックは
捨てるのが悪いのか。
3年 D組 名前 山崎 悠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

13 気候変動に具体的な対策を

対応し立ち直りできるようにする力を、すべての国でそなえる。

政策や、戦略、計画に入れる。

変動の影響に備えたり、影響を減らしたり、早くから警戒するための、教育を高める。



➡ (2) 生徒会の取組

➡ ③ いじめ防止の取り組み

➡ 「学級（ホームルーム）活動や児童（生徒）会活動などの場を活用して、児童生徒自身がいじめの問題の解決に向けてどう関わったらよいかを考え、主体的に取り組むことは大きな意義があること。」



The image displays a large number of handwritten Japanese notes, each titled "優しい言葉かけの輪" (Gentle Words Circle). These notes are organized into many small, overlapping sections, each containing a table with three columns: "いつ" (When), "だれが" (Who), and "何をしてくれた" (What was done). The notes are written on a grid background and are arranged in a dense, overlapping manner. Some sections have additional handwritten text below the tables. The overall theme is about positive communication and support.

Each section typically contains the following information:

- いつ (When):** The date or time of the event.
- だれが (Who):** The person who performed the action.
- 何をしてくれた (What was done):** The specific action or words that were shared.

For example, one section might read:

いつ	だれが	何をしてくれた
7/9 (水)	石本さん、田中さん	教室の机、棚、本を整理してくれた

Another section might read:

いつ	だれが	何をしてくれた
7/5 (日)	村田さん	おしゃべりしてくれて楽しかった

The notes are written in a clear, legible hand, and the overall layout is organized and easy to read.



(3) 生徒心得の改定

➡ ① 目標・方針

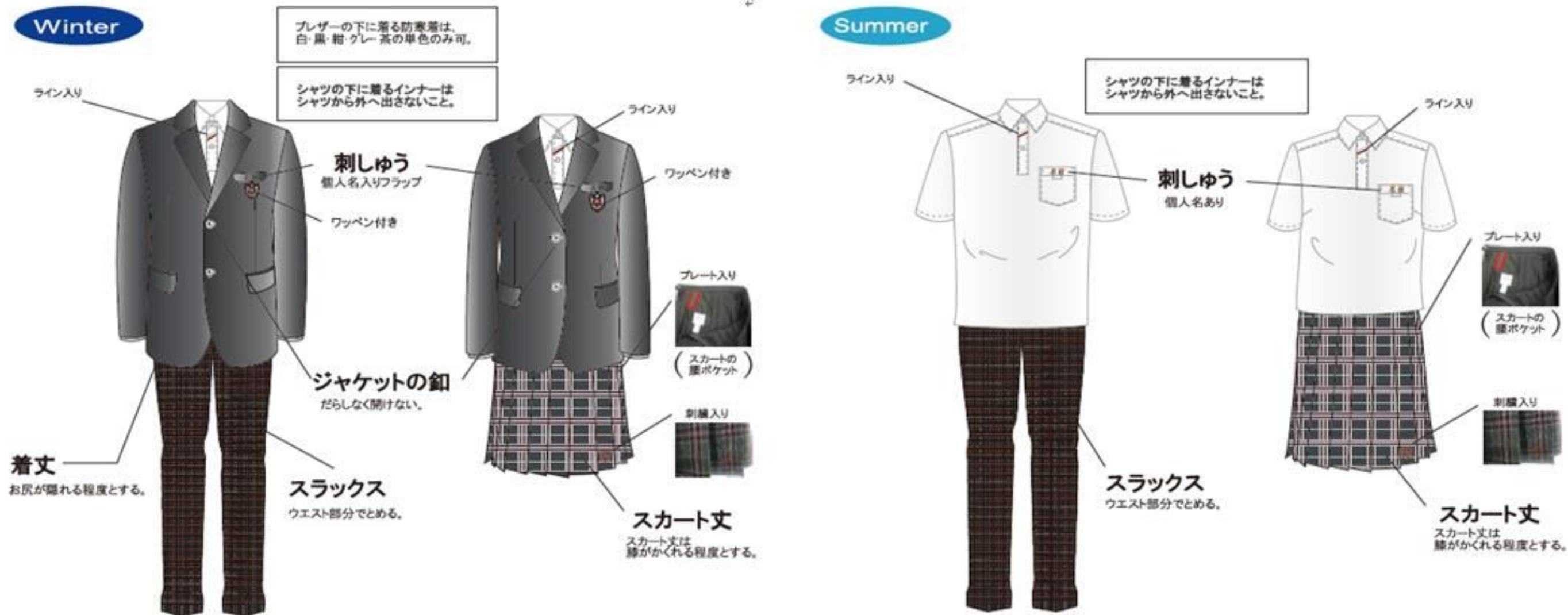
<目標>生徒自身が学校自治に意見を出し、
よりよい学校生活をおくるための校則をつくる

<方針>現行の校則をもとにより良い生活を目指す
ための部分改定を進める

(3) 生徒心得の改定

【服装・所持品について】

- 校内では、名札が見えるようにする。
- プレザーの中に着用するセーター・カーディガンは、白・黒・紺・灰・茶の単色とし、ポロシャツの襟やラインが確認できるものとする。
- セーターやカーディガン姿での生活は禁止とし、必ず上からプレザーを着用する。
- ポロシャツの中に着用する下着類は、透けて見えないものが望ましい。
- 制服や体操服の袖や襟元からシャツが大幅に見えないようにする。
- 靴に落書きや派手なペイントをしない。
- スカートやズボンを加工して短くしたり、裾を折り曲げたりしない。
- 学校指定のウィンドブレーカーの着用は登下校のみとし（マフラー・手袋も同様）、基本的には校舎内で身につけない。
- 体型にあった大きさの制服をきること。（スカートはひざにかかる程度の長さとする）





まとめとして

生徒が主体的に行動するようにするには

- ① すべての組織で学校の目標が共有
- ② 生徒に任せる部分を明確化
- ③ 縦割り活動の活性化

ご清聴ありがとうございました。

コミュニケーションカードに
入力よろしくお願いします。

